

熊本県 令和2年7月豪雨 災害支援報告

災害対策委員会 熊本県副代表
山形朝子(済生会熊本病院)

災害の概要

- 2020年(令和2年)7月3日から7月31日にかけて、**熊本県**を中心に**九州**や**中部地方**など日本各地で発生した集中豪雨

災害発生1週間後

- ライフラインが可能な地域が多いため、電話での問い合わせが可能
- 高速などの輸送手段も回復しており、個別郵送ができています
- 熊本地震と違い局所の災害であり、近隣のWOC在勤施設がカバーできている
(八代・水俣)
- 施設のオストメイト対応トイレ開放にて装具交換場所を確保

被災者からの問い合わせ内容

7/3水害発生～7/17まで

58件(入電カウント数)

- 装具が水に流されて無くなった
- 災害前に給付申請していた装具が欲しい
- 水が出ないので交換方法がわからない
- ゴミ袋がないので装具をどの様に廃棄して良いか
- 装着期間を1～2日延ばしても大丈夫か
- 9月まで申請購入していたが今後の不足分は自費で購入するのか
- 物品を訪問看護ステーションで保管してもらっていたが訪問看護ステーションが浸水した
- 装具の再給付がなかなか進まず苦慮している

販売店による対応

- OAS 1ヶ月無料提供への対応
- 消臭潤滑剤や凝固剤をセットにし緊急用として提供 4件
- 安否確認 267件

問題点：行政装具の再給付制度がなかなか進まず苦慮した。
再給付が認められず自費での購入となった市もある。

ストーマ用品セーフティネット連絡協議会 OASからの報告

	アルケア	コロプラスト	コンバテック	ホリスター（ダンサック）	合計
人数	9	16	5	16	46
箱数	12	25	10	27	74
金額	46,950	107,330	36,230	129,380	319,890
対象者	熊本のみ	熊本のみ	熊本のみ	熊本のみ	

1) 災害救助法第11報

全国で9県98市町村にそれぞれ災害救助法が適用されたが無償提供をさせていただいたエリアは熊本にお住いの方のみ。

2) 昨年の台風災害同レベルの補償があった。

3) 首都圏で大規模災害が発生した際には更なる補償が予想される。

ストーマ装具の受け渡し

◎避難所での装具を渡す事について

避難所の職員は派遣勤務者であり、決定事項は市役所福祉政策課を通す必要あり

- 福祉政策課によれば個人の物の受け渡しは避難状の運営を逼迫させる為出来ない
- 個人情報観点から受給者を特定させてはいけない

⇒直近のWOCNがいる施設にて個別に渡す

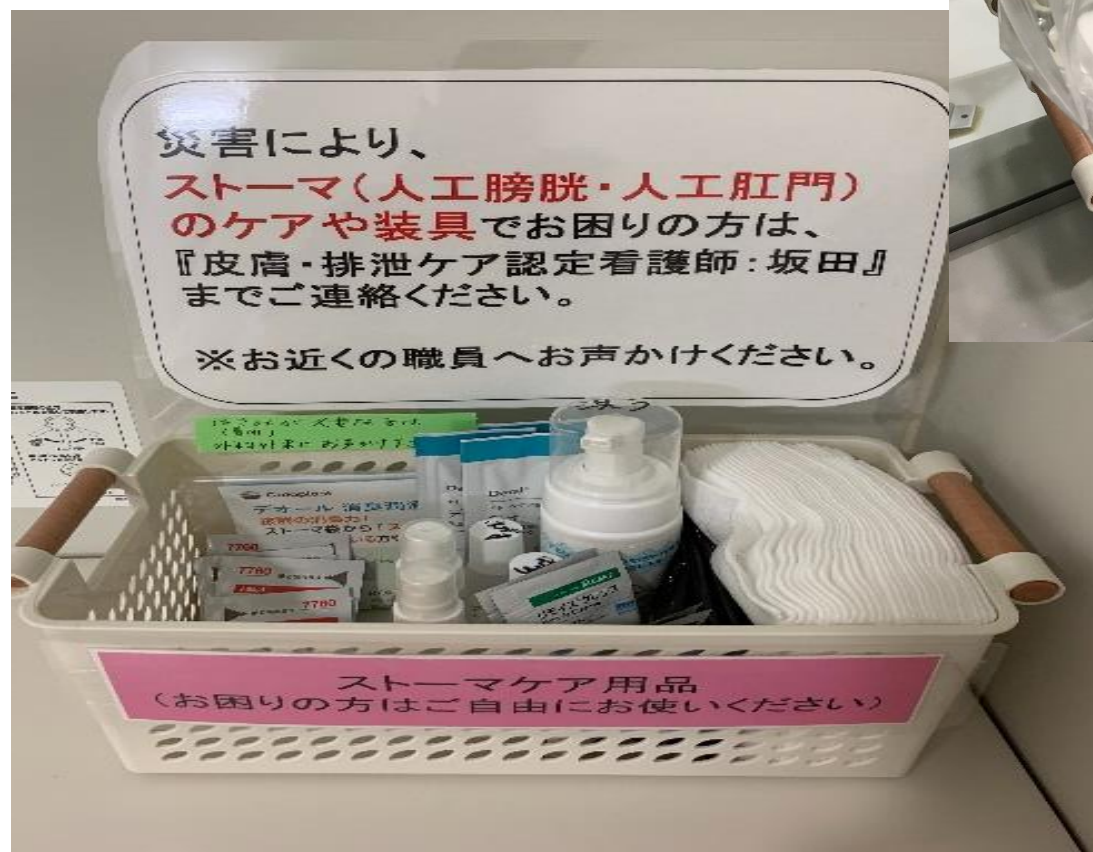
- その後、老人ホーム、グループホーム、スポーツ施設(避難所)、仮住まいの住所への配達や配送
避難している親戚や家族の家宛てに郵送

避難所での支援

「ストーマ装具についてお困りの方は販売店に」というメッセージを避難所に伝える

- 災害発生初期段階では避難所にチラシを貼ることは出来ないが、役所の業務細分化後に可能となった→各市町村の避難所担当課に申請、避難所のスタッフがチラシを貼るのが条件（販売店がチラシを貼付すると営業活動と勘違いされる可能性があるため）
- チラシの許可がでていても芦北のみ貼られており、その他の地域には貼られていない→再度交渉
- コロナ対策の兼ね合いもあり、避難所への立ち入り規制がかかっている

近隣施設の多目的トイレに装具交換用品設置



水俣市立総合医療センター、熊本労災病院、
人吉医療センター、球磨郡公立多良木病院